

業者に負担押しつける 軽減税率・インボイス 反対!

日本税理士会連合会
日本商工会議所も

軽減税率 税負担は軽くならずに重くなる?!

政府は消費税の増税と併せて、軽減税率(複数税率)の導入を決めています。しかし『軽減』とはまやかして、実際には食料品など一部の品目を現在の税率8%に据え置くだけです。

また、店内飲食は税率10%で、持ち帰りは税率8%など、大きな混乱が生じ、食品を扱う小売店や飲食店の負担が増大します。しかも、財務省は税率が違って同じ値段で販売する方法を認める方向です。消費者の負担が軽減される保証はありません。

インボイス 課税事業者か 取引からの排除?!

複数税率になると、適格請求書等保存方式(インボイス方式)への対応が求められます。これは、登録を受けた課税事業者だけが発行できるもので、売り上げ1000万円以下の免税事業者は発行できないため、取引先の消費税の納税額が増えることになります。

そのため、免税事業者は取引から排除されるか、仕入税額控除分の値引きを強要される恐れがあります。それを避けるためには、インボイスを発行できる課税事業者になることが迫られます。

民商では、「消費税増税を中止して5%に戻せ」「軽減税率・インボイス反対」「免税点を3000万に戻せ」の署名に取り組んでいます。ぜひ、ご協力ください。



軽減税率 Quiz

同じ商品でもテイクアウトは8%、店内で食べる場合には10%など、軽減税率は細かく決められています。何が軽減税率なのか分かりますか?

問題①

下記のなかに一つだけ税率が8%のものがあります。どれでしょう?

- 1、ビール
- 2、コーヒー
- 3、水道水

問題②

下記のなかに一つだけ税率8%のものがあります。どれでしょう?

- 1、テイクアウトのハンバーガー
- 2、ケータリングによる調理・盛り付け
- 3、列車内の食堂車での食事

こたえ:①2、②1

「教えて湖東先生」アニメ動画
全4話 YouTubeで配信中

